

## 平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大学生と農村の交流による特産物開発・生産を通じた地域活性化
事業主体 (連絡先)	鷹山総合産業振興組合 (組合長 小林 和夫 tel 0268-69-0550 e-mail kob092@yahoo.co.jp)
事業区分	(6)イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,926,638円 (うち支援金: 1,333,000円)

### 事業内容

- 専業農家の高齢化や減少が進み、地域活力低下の歯止め策として、都市大学と提携を結び地域活性化の基盤作りを行う。
- 大学と農村の交流を通して地域資源、特産品開発や生産を行い、新しい農業のあり方や6次産業化に向けた取り組みを行う。
- 交流事業によりオフ期の宿泊施設の稼動向上に寄与する。
- 草刈。藪切り。立木除去作業を行い、次年度以降の農地再生整備を進める。



【東京農大との交流事業】

※1 自己評価 (事業実施率)

【 A 】

### 事業効果

- ダッタンそば 5ha を新規作付けし、前年比 200% と地域特産品の安定化に寄与した。
- 搾油用ヒマワリは 300kg を収穫し、60kg (300cc × 200本) を加工できる見込である。
- 交流事業による延べ宿泊者数 520名は、年間宿泊者数を 4.3%引き上げことができた。
- 協働作業やレクチャーに後継者や就農希望者が参加することによって、就農意識の向上が図れた。

### 【目標・ねらい】

- 大学生との協働作業
- 特産品作物の試験栽培と加工
- 宿泊施設の活性化
- 後継者・就農希望者の意識向上

※2 自己評価 (事業効果)

【 B 】

### 今後の取り組み

東京農大とは4年間の協定が結ばれ、継続が担保されている中で、農地の再生から特産物の選定・加工・販売へと繋げる具体的計画を作成し6次産業化を確立する。  
また、不足する労力を如何に確保して行くかは課題であり、広く関係する機関の協力を得て行く。